

二毛作推進で穀物不足に備えよう

ウクライナ情勢には目が離せませんね。遂にロシア軍は化学兵器を使い始めたらしい。避難民で混雑する駅にミサイルを撃ち込んでも、民間人を後ろ手に縛って射殺しても、ただ「ウクライナの自作自演」と云うだけ。平和になった将来、ロシアから輸入した物にクレームをつけたら「そちらの自作自演」と云うんでしょね。誰がロシアから買うか？ シエルやBPはロシアの石油、LNGから撤退。数千億円の損害と云う。将来ロシアが国際市場に戻ろうと云う時、ロシアはこの数倍のつけを払うことになるだろう。

政府は対策を

「マウリポリは明日にも陥落」と毎日言われている。キーウ攻略失敗のロシア軍が東部に回るそうだが「ウクライナ軍には勝てない」と云う気分が広まる。スターリングラードを攻撃したものの結局降伏したドイツ軍の姿に重なる。

世界的に穀物不足になるのは明白。穀物の国際価格が上がり、困るのは消費者。これまで工業製品の輸出の見返りに穀物の輸入を拡大、食糧自給率は僅か37%。日本の農地には十分な生産力がある。

今、政府がやるべき事は、「減反した田も耕して田植えを。海外の麦はあてにできない。田の裏作に麦を作る二毛作を推進。収穫した穀物は政府が買い上げ世界的穀物不足に備え」と旗を振ることではありませんか？

皆さんはどう思われますか？

梨の花

埼玉県久喜市菖蒲町柴山枝郷
二〇二二年四月



久喜市の知人から「桜はもう終わるけど、梨の花がきれい」と知らせを貰った。桜の花見は何度もしているが、梨の花見はしたことがナシ。この絵の梨は出荷をやめた畑。自由に枝を伸ばした枝に白い花が咲いていた。減っている。

先週は休みました

